

令和2年度 今治市宮窪カレイ山展望公園指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市宮窪カレイ山展望公園
所在地	今治市宮窪町宮窪4703番地
指定管理者	<p>名称 NPO法人能島の里</p> <p>代表者 理事長 村上 利雄</p> <p>住所 今治市宮窪町宮窪4703番地</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運營業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>産業部 観光課</p> <p>TEL : 0898-36-1541</p> <p>E-mail : kankou@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	施設の目的基本方針の確立をするため様々な事業を行った。楽しく利用して頂くために適時清掃をした。公園に魅力を付すために園内に多数の花を植えた。市場で農産物を準備したがコロナ禍で収益は減少した。	B	事業の履行は適正に行われている。今後も施設の設置目的や管理運営の基本方針を理解し、利用者にとってのサービス向上に向け、積極的に業務に取り組んで頂きたい。
利用状況	C	コロナ禍で感染対策への協力もあって積極的な活動はしなかったが、必要な作業、トイレ掃除や草刈りなどの通常作業は行った。県内からの人出は減ったが、カレイ山展望公園の知名度もあって関西、関東ナンバーの車が多数来た。コロナの影響により、入園者は昨年より減少した。ワクチン効果で元に戻ることを期待している。	B	新型コロナウイルス感染症の影響については、避けようのない事態である。そのため、施設を利用可能になった際、安心して施設が利用できるよう、運営に尽力いただきたい。
事業収支	B	全体の予算内で施設の管理を行い、観光地化を図るために、必要な費用は最小限で支出した。収入支出は適切に処理を行った。	B	収入、支出に関して適正に行われており、植栽管理のための備品購入など、必要に応じた投資を行っている。利用者減による利用料の減少を適切に把握し、滞りない団体の運営に努めて頂きたい。
管理運営体制	B	月に一度定例作業日を設けている、この日は会員が集まって、主に清掃等の管理作業を実施した。日常的に行うべき作業は、配置された人材が中心となって必要な人材を確保しながら行った。また、積極的な施設管理・充実化を図るため、毎週土・日曜日及び祝日には、カレイ山展望公園付近に住む会員10名程度が集まって活動を行った。	B	限られた人員の中で、適正な管理運営ができるよう人員配置がなされている。人員が少ない中、お互いの情報や知識を共有し、お互い助け合いながら施設運営に努めて頂きたい。
管理運營業務	B	魅力ある施設を維持するため、清掃・剪定などを積極的に行い、景観美化に務めた。トイレ清掃に関しては、展望台に設置されたものは女性会員が、キャンプ場のものは男性会員が受け持ち適時清掃を行った。全体の公園清掃は土・日・祭日に多数の会員で適時行った。	B	集客力を上げるための美観上の工夫や清掃等適切な施設管理がなされている。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用業務	B	<p>カレイ山展望公園内の美化による集客を図るため、草木の剪定・伐採を積極的に行った。また、コロナの影響と思われるキャンプ場利用者の減少がみられ、4月にはキャンプ場の利用休止期間を設けることとなった。その際は、ロープや張り紙等により周知を行った。</p> <p>カレイ山展望公園の魅力発信のためホームページに力を入れた。また基幹産業の大島石をよりPRするために、大島石文化体験ツアーの実施方法を変更し、多数の受け入れが出来るようになり、コロナ終息後に多数の観光客の参加を見込んでいる。</p>	B	<p>新たなイベントの実施やHPの更新による施設のPRを行っており、産学交えた展示に向けて取り組んでおり、これにより新たな客層の利用者を呼び込むことを可能としている。今後はSNSなども積極的に活用し、イメージアップに取り組んで頂きたい。</p>
その他業務	B	<p>多くの方に来場してもらえるように、積極的に活動を行った。とりわけ、駐車場管理業務に注力することによって、来場する車の安全性や円滑性に配慮した。今後は、事故・災害が実際に起こった場合を想定して的確に対応できるよう、積極的に取り組んでいきたい。また、公園に至る経路の美化清掃は困難な活動だが、視界が良くなり交通事故軽減につながるため積極的に行っていきたい。</p>	B	<p>現地利用客のニーズを的確にとらえ、魅力向上に取り組んで頂きたい。また、利用者の事故予防に向けた取り組みに力を入れており、サービスの向上を図っている。</p>
修繕業務	B	<p>施設を綺麗にするため気になる箇所の階段の補修、水路の清掃及び施設内の松枯れの伐採等を行った。また、会員有志が毎日空いた時間を利用して園内の清掃等で管理を行っている。</p>	B	<p>修繕業務については、人員確保できる時において円滑に行っており、今後も利用者の安全と美観の確保を図って頂きたい。</p>
備品管理業務	B	<p>備品は決められた倉庫で管理を行っている。耕運機の購入により、植栽管理の効率が良くなった。また、梯子購入によって高いところの草も刈れるようになり清掃も安全にでき綺麗になった。</p>	B	<p>施設管理のために備品を購入されており、積極的な施設運営を行っている。今後も適正な管理と効率的な更新を行って頂きたい。</p>
行政財産の目的外使用許可 手続業務	B	<p>物品販売のためのコンテナとそれに代わる建屋は、駐車場のスペースに侵食しないよう配慮して配置している。会員が食の安全を考え、ここでは主に減農薬で作られた地産の農作物を即売しているが、今年度の売上は36,400円とコロナ禍で昨年より減った。そのうちの90%を物品販売収入として商品提供者に支払った。</p> <p>石の腰かけは展望台に上れない高齢者が利用できるため、人気スポットとなっている。また、カップルにも人気があり、多数の人に活用されることによって観光地化に大いに役立っている。</p>	B	<p>申請手続き、運営面において適切な処理がなされており、利用者へのサービス向上が図られている。今後も継続して取り組んで頂きたい。</p>
自主事業	A	<p>今年はコロナ禍のため三密を避けて活動を行った。特に力を入れたのが愛媛大学に依頼した大島石の学術調査の活動である。円滑に調査を進められるよう協力を行った。成果品をカレイ山展望公園のギャラリーに展示する予定である。</p>	A	<p>大学と連携したイベントの準備を進めており、新たな利用客の開拓に力を入れている様子が伺える。今後も施設のPRのため、新たなイベントの実施により利用客の誘致を図って頂きたい。</p>
地域団体との 連携	B	<p>鶺鴒島はカレイ山展望公園から見える、瀬戸内の原風景が残る唯一の場所であり、鶺鴒島の魅力アップのため協働で活動を毎年行っている。</p> <p>今年は鶺鴒島住民2名と能島の里会員11名の計13名で清掃を実施した。また、念願の大島石の良さを学術調査によって明らかにしようと愛媛大学に依頼して実施した。</p>	B	<p>カレイ山展望公園から臨む鶺鴒島の魅力を守るため、今後も各団体との連携による清掃等協働活動を継続し、広域での地域活性化を図って頂きたい。</p>
利用者 アンケート	B	<p>コロナ禍でアンケートは実施しなかった。施設利用者が回復次第、新たな生活様式にあわせたニーズを探るためのアンケートを行いたい。</p>	B	<p>コロナの影響については避けようのない事態であるため、施設利用の再開の目処がたち次第、実施頂きたい。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
事故・苦情	B	アクセスの道路に穴が空いていて京都から来た観光客の車のタイヤがパンクした。深い穴にタイヤが入ったことでタイヤの横が破損し修繕が効かないので台車によって今治まで運びタイヤを取り替えた。	B	トラブルについて、適切に対応しており、利用者にとって満足度が高いものとなっている様子が伺える。緊急時の対応について、出来る範囲で対応頂き、また未然に防ぐことが可能なものについては対応できる範囲でお願いしたい。
指定管理者の経営状態			会計帳簿等については法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められる。指定管理者の経営状況についても事業収支一覧や経営状況分析指標等から判断した限り、指定管理を安定して行う能力を有していると認められる。	

## 総合コメント(市)

指定管理者は、条例等及び業務仕様書に基づき、カレイ山展望公園の魅力が十分に発揮できるよう、施設の管理・運営を適正に実施していると評価できる。地域の活性化を図って他団体との連携も積極的に行っているが、新型コロナウイルスの影響は甚大であり、利用者の減少は致し方ないものであるといえる。一方、他者と距離をとりながら楽しむことの出来るキャンプの需要が高まっていることから、これについて積極的なPRを行い、これまでの取り組みを継続しつつ苦情やアンケート結果を分析しながら、利用者に対するより良いサービスの提供の環境を整えることを望む。また、産学連携を行った新たな展示等の準備など、現状維持にとどまらない姿勢が伺える。今後も新たな客層を取り込めるイベントを企画し、施設の積極的な利用を図って頂きたい。